

# くすりのしおり

自己注射剤  
2021 年 06 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：クロスエイト MC 静注用 500 単位

**主成分：**乾燥濃縮人血液凝固第 VIII 因子 (Freeze-Dried human blood coagulation factor VIII concentrate)

**剤形：**白色～微黄色の乾燥製剤（用時溶解）、注射剤（溶解液添付）

**シート記載：**



## この薬の作用と効果について

血液中に欠乏している血液を固める働きのあるタンパク質（血液凝固第 VIII 因子）を補うことにより、血が止まりにくくなっている状態を改善します。

通常、血液凝固第 VIII 因子欠乏患者の出血傾向の抑制に用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。溶血性・失血性貧血、免疫不全、免疫抑制状態がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・本剤を添付の注射用水 5mL で溶かし、通常 1 回人血液凝固第 VIII 因子として 250～2,000 国際単位をゆっくり静脈内に注射しますが、年齢・症状により適宜増減されます。本剤は 1 瓶中に人血液凝固第 VIII 因子 500 国際単位を含有します。必ず指示された方法に従ってください。
- ・溶かした時に沈殿が認められるもの、または濁っているものは使用しないでください。
- ・一度溶かしたものは、1 時間以内に使用してください。
- ・注射し忘れた場合は医師や薬剤師、看護師に相談してください。絶対に 2 回分を一度に注射してはいけません。
- ・誤って多く注射した場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で使うのをやめないでください。

## 生活上の注意

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

副作用として、発熱、じんま疹、顔面紅潮などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、蕁麻疹、全身のかゆみを伴った発赤 [アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、凍結を避け、30℃以下で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。
- ・使用済みの針、薬の瓶および付属品は、受け取った薬局の指示どおりに廃棄してください。
- ・この薬は、日本で採血された血液が原料となっています。血液を原料とした製剤であることから、ウイルスを不活化するための化学処理やウイルスを取り除く処理を行っており、現在までにこの注射によるウイルス感染は確認されていません。しかしながら、血液を原料としていることによるウイルス感染などの可能性を完全に否定することはできません。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。